

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものによきわしい自覚と誇りに生きましよう。

奈良市民だより No. 491

市民のうごき

6月15日現在(前月比増)
人口 309,421人(585)
男 150,017(286)
女 159,404(299)
世帯数 99,446(218)

鴻ノ池運動公園建設へダッシュ

みごと完成したメインスタンド(中央の塔が写真判定塔)



三万人収容の大スタンドみごと完成

陸上競技場、来春に完全整備へ

「駆けよ大和路はばたけ未来」をスローガンに、昭和十九年に開かれる第三十九回国民体育大会「わかさぎ国体」まで、あと二年余りとなり、奈良県下では急ピッチで開催への準備が進んでいます。

内の諸施設の整備などが着々と進んでいます。鴻ノ池運動公園には中央体育館、同第二体育館、中央武道場、弓道場、野球場など既設の体育施設があり、これらが活用されていますが、わかさぎ国体を機に新設される陸上競技場などあわせて、国体を終わってからも市民のスポーツの拠点としての総合的な運動公園の機能を果たします。

この両スタンドは芝生張りにしてあり、ここは二万五千人が収容でき、合計三万人が観覧できます。

式には天皇陛下が臨席される予定です。さらに、二十席の身障者席もスタンドの最前部に設けられています。

この陸上競技場の特徴の一つとしてあげられるのが、場外に設けられるトレーニング走道です。この走道はメインスタンド外側の一階フロアに設けられ幅五メートル、長さ五十メートルの四コースが設定され、トラックと同じ舗装仕上げになっています。

は来春までに舗装

このスタンド部分の完成について、来年三月までに、一周四百八十メートル、十メートル幅のトラックが全天候型に舗装されます。

わかさぎ国体のメイン会場として総合開閉会式と陸上競技が行われる市鴻ノ池陸上競技場は昨年七月に着工され、六月中旬に四角を囲むスタンド部分が完成しました。

完成したスタンド部分のうち、メインスタンドは鉄筋コンクリート造り一部三階建て、古代寺院形式の柱を取り入れるなど、奈良ならではのデザインで、建築面積は三千八百二十九平方メートル、収容人員は五千人。

議長岡田氏 副議長横井氏

六月市議会で選任

六月十七日開会の奈良市議会六月定例会は、同二十四日岡田清三郎議長の辞職願の提出を受けて同日の本会議で議長選挙を行い、新議長に岡田清三郎議員を再選、同じく二

岡田清三郎氏



昭和四十六年四月市議初選以来三期目。市議会の議長に就任。

横井健二氏



昭和四十六年四月市議初選以来三期目。市議会の副議長に就任。

就任ごあいさつ

奈良市議会議長 岡田清三郎

私こと、このたびの市議会六月定例会におきまして議長に就任することになりました。第四十七代の奈良市議会議長として引き続きその重責を担うこととなり、責任の重大さを痛感いたします。

併せてこの際、再来年に迫っておりますわかさぎ国体につきましても、その成功を期すために挙げて一層の尽力が必要な時期であります。

本市におきましては、市民皆様のより快適な生活の礎を築くために、また漸増を続ける人口に対処するべ

この様に、地方自治確立後、かつて経験のない新しい市政の局面を迎え、私もその渦中に弄されることとなり、将来に向かっての

差別を 強調月間

人は生まれながらにして自由と平等を保障されており、この基本的人権は人類普遍の原理として、三つの世紀を経た今日、い

て社会生活の中で最も尊重されなければならない。差別の根絶に向けて、みなな

が、今この社会をみると部落差別、障害者差別、男女差別、外国人差別など多くの

差別があり、この基本的な人権は人類普遍の原理として、三つの世紀を経た今日、い

て社会生活の中で最も尊重されなければならない。差別の根絶に向けて、みなな

が、今この社会をみると部落差別、障害者差別、男女差別、外国人差別など多くの

差別撤廃の前進を 新法制定を機に反省と点検

同和問題はきわめて深刻にして重大な社会問題です。この問題の解決のために同和对策事業の推進をはかり、生活環境の改善など一定の成果を得ることができ、市民の理解度も高まってきています。の、いまだ悪質な差別事件が続発するなど、完全解決には至っていません。

しかも、「同和对策事業特別措置法」は今年三月末で期限切れとなりましたが、多くの課題を残していることから、新たに「地域改善対策特別措置法」が制定されたのを機に、同和对策事業について反省と点検を加えて、より積極的、効果的に施策の推進をはからねばなりません。

このような状況のもと、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくす一大県民運動を展開するため、奈良県では七月を「差別をなくす強調月間」として、県下全域にわたって各種の行事を実施します。

奈良市でもこれに応じて各種の行事を予定しており、ポスターを市内各所に掲示するなどして、広く市民の参加を呼びかけます。

この月間によって実施される行事のおもなものはつぎのとおりです。

- 東之阪・古市・横井・西之阪・八条・杏中・杏南各隣保館、西部公民館(時間はいつでも午前10時～午後4時)▽2日・9日・16日・23日・30日▽市役所相談室(時間はいつでも午前9時～午後4時)
- 人権啓発パレード 28日(水)午前9時半～午後3時
- 差別をなくす県民集会 9日(金)午前9時半～午後2時40分、県文化会館大ホール
- 子どもに対する人権教育はどうあるべきか?をテーマにパネルディスカッション、映画「赤まんまの歌」
- 差別をなくす市民集会 16日(金)午後1時～同4時、市史跡文化センターで、山田光二天理大助教授の講演と北川進氏のフォークソング
- 差別をなくす町民集会 市内の各隣保館で開かれ、講演や映画会が催される。
- 隣保館・公民館行事 学習会、懇談会、研修会、野外学習会、パネル展など
- 差別をなくすパネル展 差別の歴史と実態を描いたパネルを17日から22日まで市役所一階市民ホールで展示。このほか各隣保館・公民館でも期間中巡回展示する。
- その他 婦人研修会や教育関係者同和教育研修会が開かれます。

奈良テレビで特別番組

「差別をなくす強調月間」中、奈良テレビ(UHF55チャンネル)でつぎの番組を放送します。

- 社会教育番組 「暮藩下の農村部落」7日と9日▽「みこし騒動」14日と16日▽「仕事に学ぶ」21日と23日▽「解放子ども会」28日と30日。各番組の先日は午後9時25分～同45分、後の日は午後2時25分～同45分。
- 教育広報番組 「同和教育」

社会を明るくする運動

七日に啓発キャンペーンを展開

犯罪の防止と罪をおかした人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする「社会を明るくする運動」は「青少年を非行から守る全国強調月間」と共に、七月いっぱい全国的に展開されます。今年も「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」を重点目標に、関係機関・団体はもとより、家庭・学校・職場、さらには地域住民一人ひとりが

家屋実態調査

今月から実施

市では新築・増築家屋を中心に家屋の実態調査を今月から行います。この調査は固定資産税の課税に必要なもので、調査のために資産税課の職員が各家庭を訪問しますので、ご協力をお願いします。

なお係員は調査員証を持っていますので、ご不審の場合には提示を求めてください。また、お問い合わせは資産税課(☎21-111)へ。

原案通り可決 六月の市議会

六月定例市議会は六月十七日開会され、十日間にわたって、提案された市長専決処分報告についてなどの報告六件と昭和五十七年度市一般会計補正予算など十五議案について審議、いずれも原案どおりに承認・可決・同意し、正副議長(一面所載)はじめ各常任委員会の委員などを改選して六月二十六日開会しました。

【報告】市長専決処分の報告
▽継続費繰越計算書及び繰越明許費繰越計算書並びに予算繰越計算書の報告▽株式会社奈良市清美公社の経営状況の報告▽財団法人奈良市舗装公社の経営状況の報告▽奈良市土地開発公社の経営状況の報告▽財団法人奈良市学校建設公社の経営状況の報告

【議案】市長専決処分の報告並びに承認を求めると▽五十七年度市一般会計補正予算▽五十七年度市下水道事業費特別会計補正予算▽五十七年度市都市計画事業用地先行取得事業特別会計補正予算▽市税条例の一部改正▽市自動車駐車場条例の制定▽市国民健康保険条例の一部改正▽市消防団員等公務災害補償条例の一部改正▽市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正▽工事請負契約の締結(二件)▽市公営住宅条例の一部改正▽財産区分の処分▽財産の取得▽監査委員の選任

【意見書可決】また「国民健康保険財政への政府負担額引上げに関する意見書」も可決しました。

常任委員会委員

(敬称略)

【総務財政】委員長 尾谷進
▽副委員長 大谷哲▽委員 森田和三、吉田正二郎、沢田昭二、岡田清三郎、福井新次、坂本浩志、森田勝、法用末春

【経済水道】委員長 岡本栄一▽副委員長 西村孝春▽委員 藤原好雄、今中せつ子、扇田善次、坂本幸夫、猪井政之

監査委員に両議員

議会選出の市監査委員に西岡憲孝、中村誠一両議員が選任されました。

【企画建設】委員 岩名俊夫、松石聖一、花井隆郎、浅川清一、新谷春見、真鍋四郎、橋本和信、今西五一、小嶋高年、中尾時一、大西富雄(企画建設委員会の正副委員長の互選は後日おこなわれます。)

請願五件継続審査

さきに教育厚生委員会付託になっていた「国民健康保険に関する意見書提出について」の請願書は採択され、また「企業建設委員会の正副委員長の互選は後日おこなわれます。」

【教育厚生委員会】国民健康保険条例改正に関する請願書▽平城ニュータウン内図

創設20周年に 一千万円寄付

三和住宅が

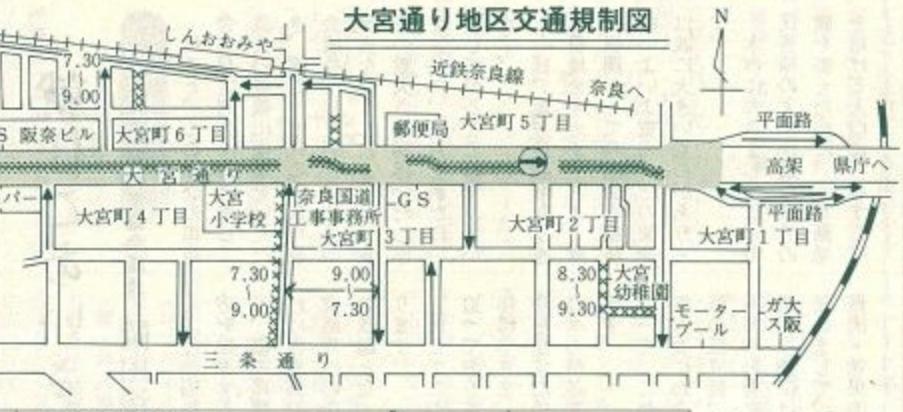
西大寺東町二丁目三和住宅(小林善社長)は、同社創立二十周年の記念事業の一環として市の心身障害者福祉施設建設基金に一千万円を寄付することにし、去る六月二十三日の同社記念式典で小林茂市会長から木山弘市長に手渡されました。

収益約20万円 を善意銀行へ

済美地区婦人会が

済美地区婦人会(杉本玉子会長、会員千二百人)では六月十三日、済美小学校講堂で不用品バザーを開きました。このバザーは昭和五十年から毎年開いているもので、会員が持ち寄った品物は三千点にも及び、会場は多数の人でにぎわいました。

同婦人会はこのバザーの収益金二十万九千六百一十四円を全額市善意銀行に預託しました。



大宮通り付 近交通規制

国道三六九号(高梁西詰め)市役所の

大宮通り地区を中心に七月一日から上図のように広範囲な交通規制が実施されました。この通りは万国博開会を前に昭和四十五年三月に開通、奈良市の都市活動の大動脈として貢献していますが、この間近鉄新大宮駅の開設、市役所や郵便局の移転、阪奈道路の無料化などで交通量は増大しつづけて、関連道路を含めて事故も多発しています。

これに対応した規制で、前記油阪西交差点市役所前区間南北線の一方通行化、大宮通りの油阪西交差点北新交差点区間での転回禁止を中軸とし、安全通行と交通の効率化をはかったものです。

規制時間 終日ですが大宮幼稚園の西・南側、大宮小学校東側、阪奈ビル東側の各道路は時間規制します。対象となる車両から自転車と小型特殊自動車は除きます。

「法蓮づくり」農家

田中家 市文化財に指定

市教育委員会は、市文化財保護審議会(土井実会長)の答申にもとづき、このほど新たに市指定文化財として田中家住宅一棟を指定しました。この家は法蓮南一丁目一



江戸末期の伝統的建築物が姿を消してしまおうのを惜しんで指定しました。文化財課ではその解体後、柱やはりなど骨組みを保存、適当な場所を見つけて復元再建する予定です。

はつらつと田植え

母子家庭の子が楽しい初体験



市母子福祉センター「母子の家」が母子家庭の子どもに土に親しみ、土に生きる楽しさと喜びを体験してもらおうと、去る六月二十日に南宮四丁目にある増田豊子同館長の本田

(10才)で田植えの体験会を催しました。当日参加したのは約五十人で、全員が田植えは初めてというのでいささか興奮気味

訪中団員募集

西安会が親善の旅

奈良市が中国西安市と友好都市提携を結んで八年、両市・両市民の友好交流は年ごとに増進されています。今までに西安市を訪れたことのある市民で組織している「西安会」(小山恭二会長)

では、一昨年から市民友好団を中国に送って市民レベルでの親善に大きな成果を挙げしてきましたが、今年も市の後援で「奈良市西安会友好訪中団」を派遣することになり、つぎのように市民有志の参加者を募っています。

日程 十月一日出発、同十三日帰国
訪問地 北京、西安、南京、揚州、上海など
募集人員 二十五人
費用 個人負担三十七万四千円

成人式

年齢のとり方が変わる

昭和五十八年の成人式は、例年通り一月十五日の「成人の日」に挙行しますが、この式に招く新成人の年齢のとり方が変わります。従来は数え年二十歳を基準としていたのに、昭和五十七年の成人式は昭和三十七年一月一日から同年十二月三十一日生まれの人が対象でしたが、昭和五十八年の成人式から学年を基準として行うことになりました。したがって来年の

新たに事業所税を実施

人口三十万超過で

奈良市は三月三十一日の住民基本台帳法による人口が三十万人を超えたため、去る四月、政令により事業所税(市税)の課税団体に指定されました。これによって今年十月一日からつぎのような事業所税が実施されます。

◎事業に係る事業所税
資産割 事業所家屋の延べ床面積が千平方メートルを超え、一平方メートルにつき五百円。従業者割 従業者が百人を超

ごろうさん運動

21人・11団体を表彰

十三年目を迎える「ごろうさん運動」の表彰式が、去る六月四日(日)に開かれました。早朝実践大会は午前六時から市内各所で九十九団体・約一万人が参加、つづく推進大会は午前九時から市史跡文化センターで、実践大会参加団体の代表ら八百人が参加して開かれました。

表彰された団体は、(順不同) 敬称略
個人 岩崎秀夫(四条大路一丁目) 大崎照(あやめ池南五丁目) 大塚修(中町) 大森嘉治(押熊町) 奥村良一(二名町) 倉田三郎(三条河原町) 小寺義幸(学園朝日町) 清水勝嗣(米谷町) 白井原(中町) 大門ヒロユキ(須川町) 高橋良雄(三津町) 田中(鶴橋町) 辻元兵衛(下狭川町) 徳本米一(大安寺町) 中尾梅芳(古市町) 中村文徳(西九条町) 本條博(三津町) 飯原(中登美ヶ丘一丁目) 森川義隆(法

春日山で山林消防訓練

春日山で山林消防訓練

春日山で山林火災を想定した消防訓練が六月十六日、県と奈良市消防本部の協力で行われました。昭和五十七年六月、春日奥山の県有林から出火して約六・八haを焼失、国の天然記念物春日原生林の一部にも被害があったことから、二度と繰り返さぬよう五十四年から毎年最良しい防火訓練が行われるようになったもの。

春日山で山林火災を想定した消防訓練が六月十六日、県と奈良市消防本部の協力で行われました。

中国作家代表 五氏が来寧

中国作家代表 五氏が来寧

日中文化交流協会の招きで来日していた中国作家代表団(嚴文井、げんぶんせい、團長、五人)が六月十六日奈良市役所を訪れました。嚴団長をはじめ女流作家の茹志鵬(じょしけん)さんらメンバーは、いずれも現代中国文壇の第一線で活躍している作家たち。市役所五階「西安の間」に通された一行は木山市長らと

歓迎。「中国の若者は現代文学とともに『水滸伝』(すいこでん)などの古典も好んで読むほか、外国文学にも非常に興味を持っており、文化に對して新鮮な感覚を持っている」との嚴団長の説明に、木山市長らは興味深げに聞き入っていました。

日中友好第二世誕生

西安のツルちゃん

中国西安市から友好の動物使節として昭和五十七年三月に奈良市へ贈られたタンチョウツルの夫婦、奈西(ナッシ)雄と安良(アンラ)雌は、その後あやめ池遊園地の人気者となつていますが、この仲よし夫婦ツルの間に、昨年誕生したことし六月九日と十日にかわいい赤ちゃんが生まれました。ツルのヒナはまだ小さく、全身薄茶色の羽毛に

おおわれて親鳥とは似ても似つかぬ姿ながら、親鳥のくちばしからエサをもらう姿が可愛く、これからの成長が楽しみ。ほぼ一年で成鳥となるので、昨年生まれたツルの赤ちゃんはもう一人前になって元気で、このツルの一家五羽は、これから日中友好のあかしとして来園者に愛されることでしょう。写真は母さんツルにえさをもらおうと寄ってくる赤ちゃんツル

運町) 山川正一(柴屋町) 吉田忠市(石木町) 桂木田自治会(熊鷹池) 西ノ京町子供クラブ(柏原照子) 七条町子供会(吉澤繁子) 足立弘子(中西忠順) 春日万青年クラブ(石田基治) 精華婦人消防クラブ(青木未実) 正田町自治会(本城定一) 大和田町子供会(奥田長輝) 奈良市柳生観光協会(増田富治郎) 大柳生町万青年クラブ(坊垣内義雄) 平城ニュータウンスポーツ協会(稲田武一)

花山から出火したとの想定。巡視中に発見した奈良公園管理事務所員の通報で中消防署員が現場に急行、けわしい山道を小型動力ポンプを人力で引き上げ、泉の職員と合同で迫真の放水訓練を行いました。

ボーイスカウトが障害児団員を募集 日本ボーイスカウト奈良県連盟第十七団では障害児スカウトを募集しますが、その説明会を七月十七日(土)午後三時から富雄公民館(鳥見町二丁目)で開きます。問い合わせ・申し込みは電話で同事務局古田氏方(084-838)へ。対象となるのは次に該当する子です。

①市内在住の肢体不自由児で、自分の意思が伝達できる小学二・三年の男子。②自宅から集会所までの送迎が可能であること。

サマージャンボ宝くじ 住みよい地方の街づくりに役立てられる市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」(一枚三百円)が七月中旬から予約を受け付けます。申し込み方法は七月十五日(木)の各新聞(朝刊)に発表されます。

防災の日

7月14日

大規模な防災訓練

県営競輪場第一駐車場

ことしの「防災の日」には秋篠の日に秋篠町の県営競輪場第一駐車場午前八時五十分から大規模な総合訓練を行います。消防団、自治連合会、

七月十四日は、大地震などの災害に備えて日ごろの心構えや防災準備を固めるために奈良市が設定した「防災の日」です。

奈良市が設定した「防災の日」は、関西電力奈良営業所などの関係機関および市職員・市消防

平城プール

10日にオープン

平城ニータウン内にある市営平城第三号近隣公園プール(四〇四一〇九)が今夏も七月十日にオープンし、八月三十一日まで水曜日を除いて毎日開かれます。

このうち、七月十日と二十日は午後一時〜四時半の開場、その他は午前九時半〜午後四時半で正午〜午後一時は休憩。なお、七月十八日(日)の午後は「心身障害者(児)のプールで楽しむついで」のため、一般の使用はできません。

また、このプールは駐車場がないので自家用車での来場はお断りします。

入場料は左表のとおりですが、心身障害者への優遇措置として、有明・愛護手帳を窓口で提示すれば、介護者二人を含め無料で入場できます。

時間	9:30	1:00
	12:00	4:30
個人	大人 100円	150円
	小人 50円	100円
団体	大人 80円	130円
	小人 30円	80円

【備考】①団体は三十人以上で責任者に引率されたもの。②小人は中学生以下。

障害を克服してプールで楽しむ

心身障害の方が太陽の光と水と戯れながらお互いの友情を深め、併せて体力維持・機能向上をはかるために市の「心身障害者(児)」がプールで楽しむついで」が、ついでに催されます。参加費は無料です。

青空ラジオ体操会

全市域で朝の緑陰に鍛える

市教育委員会は、七月十一日から八月三十一日まで、夏休み中、全市いたるところで、青空ラジオ体操会を自主的に開いてもらおうと、各校や自治会、子ども会など各種団体に呼びかけています。

これと並行して第三十一回「青空ラジオ体操会」が佐保・鶴舞・二名三小学校を中央会場として、全市に八月一日から同十日まで開かれます。

時間は毎朝六時二十分から同四十分までで、市の提唱する「早寝早起き運動」実践の機会として早朝の緑陰のもと涼風を浴びて毎年多くの市民の参加を得てきました。今年

若草公民館

夏休み若草子ども絵画教室
七月二十五日から毎週日曜日午前九時半〜十一時半。五回で終了。参加できるのは若草中学校区の小学生五十人。申し込みは七月十七日(月曜日)は除く。までに電話で同館へ。

(市内上八反町五七五)
電話〇一三〇〇番

三笠公民館

夏休み親子料理教室
七月二十九・三十日の午前九時半〜午後二時内容：子ども好物カレーライスやサラダなど▽定員：小・中学生の子どもとその母親十二組。受講希望者は往復はがきに教室名、住所、氏名(親子とも)、年齢、電話番号を書いて七月二十日までに同館へ。定員超過のときは抽選。材料費のみ実費負担。

(市内大宮町二丁目)
電話〇五五一五番

高天町・法連仲町に停車。帰りは午後四時閉会後運行。問い合わせは福祉課第二課(〇九九一)へ。

全国身障者スポーツ大会

きたる昭和五十九年秋の第二十回全国身障者スポーツ大会が奈良県で開催されます。この大会は「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かす」をモットーに身体障害者が全国から集い

三笠公民館

夏休み親子料理教室
七月二十九・三十日の午前九時半〜午後二時内容：子ども好物カレーライスやサラダなど▽定員：小・中学生の子どもとその母親十二組。受講希望者は往復はがきに教室名、住所、氏名(親子とも)、年齢、電話番号を書いて七月二十日までに同館へ。定員超過のときは抽選。材料費のみ実費負担。

(市内大宮町二丁目)
電話〇五五一五番

親と子のキャンプ

8月7〜8日、市の教育センターで、親子キャンプを行います。申し込みは、キャンプの基礎知識を身につける「親と子のキャンプ」が、市教育委員会と市野外活動協会の共催で、市教育センター(須川町)でつぎのように開かれます。

親子のキャンプは、市教育委員会と市野外活動協会の共催で、市教育センター(須川町)でつぎのように開かれます。

老春の家

市民講座「母親教室」市と市歯科医師会の共催。日程はつぎの通りで、受講希望者はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて七月十日までに同センターへ申し込みください。定員は三十人。講義は各日とも午前十時〜正午。

七月十五日(木) 知っておきたい歯の衛生知識
七月二十二日(木) 正しい歯ブラシの使い方とムシ歯予防
七月二十九日(木) 子どもの歯と食べ物
八月五日(木) 歯列の矯正(きょうせい)

ちびっこ村開

奈良青年会議所と市青年ボランティア協会は八月二十日から二十三日まで三泊四日の「ちびっこ村」を開きます。会場は高田山の中理教の里。これは子どもたちだけで村づくりをする体験をしようというもので、今年で六回目。主催者側でこの村民を募集しています。応募できるのは小学校五・六年生で定員は三十人。希望者は往復はがきに住所、氏名、学校、学年、性別、保護者名、電話番号を書いて七月二十五日までに奈良青年会議所(登大路町三六二)へ申し込みください。申し込みは七月二十五日までに奈良青年会議所(登大路町三六二)へ申し込みください。

市子連 夏の行事

市子ども会育成連絡協議会(市子連)ではつぎの三つの行事を催します。参加希望者はがきに希望する行事、住所、氏名、学年、電話番号(サマーキャンプはコ)を書いて七月二十日までに同センターへ。

〇卓球七月十七日(土) 午前九時〜正午は自由。午後一時〜四時は時間制。
【注意】学校などのクラブ活動は認めません。運動グッズを必ず使用。用具のある方は持参してください。(〇一五〇)

中央体育館

武道と座禅 土用げいこ

市恒例の剣道・柔道・なぎなた土用げいこ土用参禅会が七月十六日(土)の三日間、市中央武道場(法連町)で開催されます。時間は早朝六時〜七時。参加できるのは市内の小・中・高校生と一般、それに市内の道場で練習している人。

参加希望者は七月十五日までに参加種目と、団体は学校・学年別に参加者数と引率者名または代表者名、個人は住所・氏名・年齢(学生は学校名と学年も)・電話番号を書いて七月二十五日までに奈良青年会議所(登大路町三六二)へ申し込みください。

市保健センター

ムシ歯をつくらないための市民講座「母親教室」市と市歯科医師会の共催。日程はつぎの通りで、受講希望者はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて七月十日までに同センターへ申し込みください。定員は三十人。講義は各日とも午前十時〜正午。

七月十五日(木) 知っておきたい歯の衛生知識
七月二十二日(木) 正しい歯ブラシの使い方とムシ歯予防
七月二十九日(木) 子どもの歯と食べ物
八月五日(木) 歯列の矯正(きょうせい)

三歳児健診

対象児は昭和五十四年四月一日〜同五十四年四月一日生まれ。当日は母子手帳をお忘れなく。問い合わせは奈良保健所(西木辻八軒町)へ。電話〇六一七(一)へ。日程つぎの通り。

七月二十二日(木) 午前十時〜同十一時三十分大柳生小学校(大柳生校区)▽午後一時三十分〜同二時三十分田原公民館(田原校区)七月二十九日(木) 午前十時〜同十一時三十分相和小学校(相和校区)▽午後一時三十分〜同二時三十分柳生小学校(柳生校区)

大型ゴミ収集

七月の収集はつぎの地区を予定しています。【事情により若干変更することもあります】収集日は約一週間前に該当自治会へ通知します。

有害ゴミは、市が配布した有害ゴミ袋(赤袋)に入れて、集積場に大型ゴミと区別して出してください。

富雄北、富雄南、富雄第三、青和(一部)、鳥見、二名(一部)

外国人留学生と交歓 集いに小中学生募集

市内の子どもの留学生と一堂に会って世界的な友情を深め合おうと、市教育委員会が市子ども会育成連絡協議会などと共催で「外国人留学生と交歓のついで」を開くことになり、つぎのように参加者

市子連 夏の行事

市子ども会育成連絡協議会(市子連)ではつぎの三つの行事を催します。参加希望者はがきに希望する行事、住所、氏名、学年、電話番号(サマーキャンプはコ)を書いて七月二十日までに同センターへ。

〇卓球七月十七日(土) 午前九時〜正午は自由。午後一時〜四時は時間制。
【注意】学校などのクラブ活動は認めません。運動グッズを必ず使用。用具のある方は持参してください。(〇一五〇)

中央体育館

親と子のキャンプ

8月7〜8日、市の教育センターで、親子キャンプを行います。申し込みは、キャンプの基礎知識を身につける「親と子のキャンプ」が、市教育委員会と市野外活動協会の共催で、市教育センター(須川町)でつぎのように開かれます。

親子のキャンプは、市教育委員会と市野外活動協会の共催で、市教育センター(須川町)でつぎのように開かれます。

ちびっこ村開

奈良青年会議所と市青年ボランティア協会は八月二十日から二十三日まで三泊四日の「ちびっこ村」を開きます。会場は高田山の中理教の里。これは子どもたちだけで村づくりをする体験をしようというもので、今年で六回目。主催者側でこの村民を募集しています。応募できるのは小学校五・六年生で定員は三十人。希望者は往復はがきに住所、氏名、学校、学年、性別、保護者名、電話番号を書いて七月二十五日までに奈良青年会議所(登大路町三六二)へ申し込みください。

老春の家

市民講座「母親教室」市と市歯科医師会の共催。日程はつぎの通りで、受講希望者はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて七月十日までに同センターへ申し込みください。定員は三十人。講義は各日とも午前十時〜正午。

七月十五日(木) 知っておきたい歯の衛生知識
七月二十二日(木) 正しい歯ブラシの使い方とムシ歯予防
七月二十九日(木) 子どもの歯と食べ物
八月五日(木) 歯列の矯正(きょうせい)

三歳児健診

対象児は昭和五十四年四月一日〜同五十四年四月一日生まれ。当日は母子手帳をお忘れなく。問い合わせは奈良保健所(西木辻八軒町)へ。電話〇六一七(一)へ。日程つぎの通り。

七月二十二日(木) 午前十時〜同十一時三十分大柳生小学校(大柳生校区)▽午後一時三十分〜同二時三十分田原公民館(田原校区)七月二十九日(木) 午前十時〜同十一時三十分相和小学校(相和校区)▽午後一時三十分〜同二時三十分柳生小学校(柳生校区)

他人のめい わくになる 青空駐車は やめましょ

